

骨粗鬆症性脆弱性骨折患者の骨粗鬆症診療の向上に関する研究

2021年1月1日から2023年3月31日までに大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤不全骨折などの骨粗鬆症性脆弱性骨折の治療を受けた患者さん

研究協力のお願い

日本医科大学多摩永山病院整形外科では「骨粗鬆症性脆弱性骨折患者の骨粗鬆症診療の向上に関する研究」という研究を行います。この研究は、2021年1月1日から2023年3月31日までに当科にて、大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤不全骨折などの骨粗鬆症性脆弱性骨折の治療を受けられた患者さんの診療内容を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：骨粗鬆症性脆弱性骨折患者の骨粗鬆症診療の向上に関する研究

研究予定期間：研究機関の長の実施許可日～2024年5月31日

調査対象期間：2021年1月1日から2023年3月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 整形外科 北川 泰之

(2) 研究の意義、目的について

高齢化による患者さんの増加に伴い骨粗鬆症診療の見直しが必要です。骨粗鬆症診療の改善法を明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年1月1日から2023年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院整形外科にて、大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤不全骨折などの骨粗鬆症性脆弱性骨折の治療を受けられた患者さんの診療内容を解析し、骨粗鬆症診療についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、骨折の種類、治療内容、経過、既往症、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：整形外科 部長・病院教授 北川 泰之

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp